

③協力医療機関

稼働病床の国上限額 52,000円～301,000円／床・日（国10/10）

休止病床の国上限額 16,000円～301,000円／床・日（国10/10）

④その他の医療機関

稼働病床の国上限額 16,000円～97,000円／床・日（国10/10）

休止病床の国上限額 16,000円～97,000円／床・日（国10/10）

○消毒等に係る経費

国10/10

（４）類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	12,230,417	患者受入れに向けた病床確保経費に対する補助金
合計	12,230,417	

決定額の考え方

4 参考事項

（１）各種計画での位置づけ

新型コロナウイルス感染症対策「～新たな波に備えて～」（R3.10.12）

（２）後年度の財政負担

患者受入に向け、病床を確保している医療機関に対して支援を行う必要がある。

（３）事業主体及びその妥当性

新型コロナウイルス感染症対策「～新たな波に備えて～」（R3.10.12）で、県としての対策として医療提供体制の強化が明記されている。

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 感染拡大防止を図るため、県内の医療機関において、十分な病床を確保する必要がある。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
						%
①						%
②						%

○指標を設定することができない場合の理由

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を予測することができず、その都度必要な対策を柔軟かつ迅速に実施する必要があるため。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。 新型コロナウイルス感染症患者の入院治療を行う医療機関に対して、病床確保料を補助し、入院患者用の病床を確保した。
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 <hr/> 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 <hr/> 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 2	<p>県内での感染拡大を見据え、県民の健康被害を最小限に抑える上で、県内の感染拡大防止と医療提供体制の整備は極めて重要である。</p>
<p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	<p>新型コロナウイルス感染症により、肺炎の症状が重症化した患者の入院を受け入れるためには、病床を確保する必要がある。</p>
<p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 2	<p>県内医療機関の状況の把握に努めており、事業の効率化が図られている。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を予測することができず、その都度必要な対策を柔軟かつ迅速に実施する必要がある。</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県内の感染状況や国の対策など、刻一刻と変化する情勢を的確に分析し、必要な対策を柔軟かつ迅速に実施していく。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	